

[No. 26-07]

令和8年5月26日

報道機関 各位

このまま街へ繰り出したくなる！「れきしる長岡京」施設見学会のご案内

このたび歴史資料展示室として、市役所内に整備を進めてきた「れきしる長岡京」の展示什器の設置が完了しました。つきましては、メディアの皆様に向け、ひと足先に施設見学会を開催いたしますので、ぜひご取材いただきたくご案内申し上げます。

※なお、枯らし(空気質安定化)期間中のため、文化財の現物は配置していません。

■概要

- ▶日 時: 令和8年6月22日(月) 午後1時00分～(約1時間)
- ▶場 所: 長岡京市役所 本庁舎2階 れきしる長岡京 (長岡京市開田1丁目1番1号)
- ▶主な内容:
 - ・施設内空間、展示什器及びデジタルコンテンツ等の見学 (詳細は別紙ご参照ください)
 - ※学芸員による解説あり

■長岡京市まちなかミュージアム「れきしる長岡京」とは

令和8年12月の市役所グランドオープンに合わせ、市役所内に歴史資料等を展示する施設としてオープンします。

市内の出土遺物の常設展示をはじめ、地形模型へのプロジェクションマッピングや3Dデータを活用したハンズオン展示も配置しています。また、企画展示の施設も有しており、年に数回企画展を実施していく予定です。

そのほかまちの紹介のプロローグ映像や「めぐるカード」を通して、実際にまちに繰り出したくなる“仕掛け”も準備しています。

■OPEN 特別企画展 「仏像に、籠(こ)める～像内納入文書の世界～」

全貌は初公開！ 重要文化財「乙訓寺木造十一面観音立像 結縁交名」

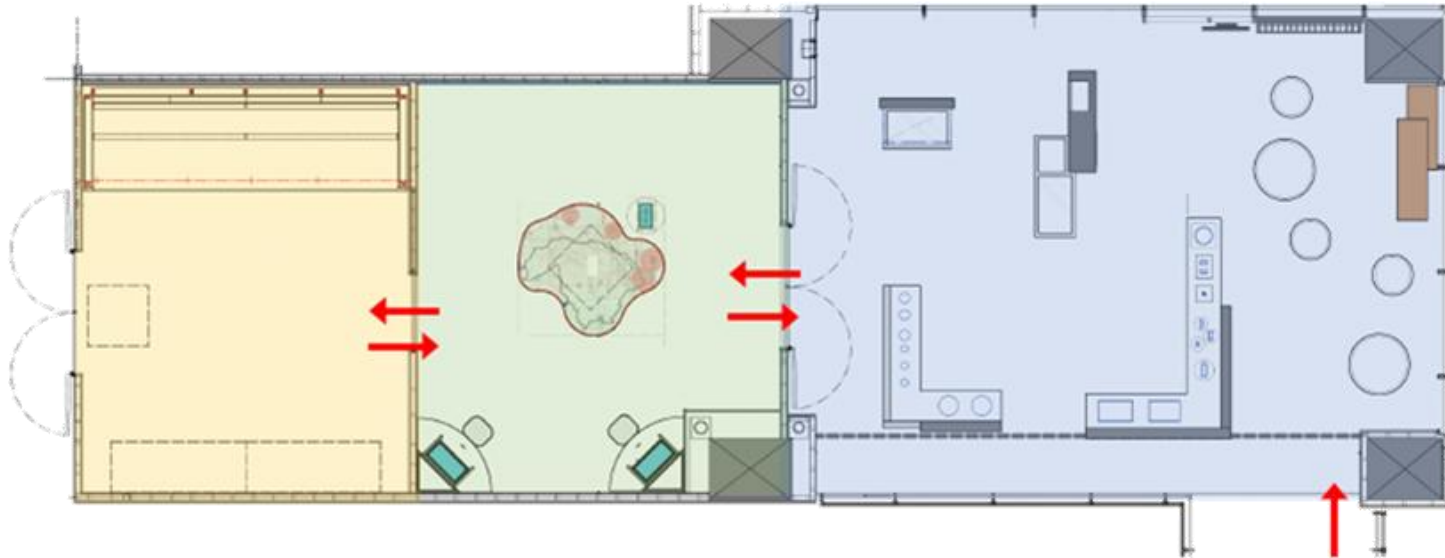
令和5年の像内文書の発見をきっかけに一日造立物であることが評価され、国の重要文化財として指定された乙訓寺「木造十一面観音立像」。像内文書は3年間の修理期間を経て、本施設のOPEN 特別企画として、令和8年12月19日から全貌を初公開。(※仏像本体は乙訓寺で公開予定)

◎本件に関するお問い合わせ先・取材のお申込み
(ご取材いただけます場合は、前日までにご連絡ください。)

長岡京市教育委員会 文化財保存活用課 担当:辰巳
電話:075-954-3557 FAX:075-954-8500
メール:bunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp

長岡京市まちなかミュージアム れきしる長岡京

全体コンセプト



本物の魅力で現地来訪を促進

展示室2

長岡京市のもつ文化財をテーマごとに展示し、一定期間ごとに入れ替えを行う企画展示空間。資料保存に細心の注意を払い、重要文化財を展示可能な仕様で展示環境を設計。本物のもつ魅力にふれることで、現地来訪意欲の創出を図ります。

デジタル手法で長岡京市の魅力を再発見

展示室1

地形模型へのプロジェクションマッピングなどの展示体験により、地形と歴史を紐づけながら長岡京市のもつストーリーにふれることでまちの魅力を再発見し、来館者自らの興味関心を振り下げるのできる展示空間とします。

アナログ手法で歴史文化への興味を喚起

展示スペース

ハンズオンをはじめ、歴史文化に関心がない人も思わず展示室へ入りたくなるような仕掛けを盛り込んだ導入空間。展示資料の見方を学びながら、来館者の興味喚起を促します。

展示体験のポイント

3つの展示室の特徴を活かし、展示に入り込む / まちに出たくなる心理効果を生み出します。

往路

長岡京市の歴史に理解が深まるほど、落ち着いて鑑賞できる空間に。

復路

興味関心が深まった上で、気になる展示をおさらいしながら出口へ向かうことで、このまままちに繰り出したいくなる。

長岡京市まちなかミュージアム れきしる長岡京

常設展示ゾーン

平日はもちろんのこと、土日祝日も楽しんでいただける空間



▶市の歴史文化を「テーマ展示」で楽しむ空間(70.71㎡)

長岡京市の歴史文化を【食べる】【装う】【祈る】の3つのテーマにわけた常設展示。展示手法も、文化財の一部だけを見せるなど、ありのままを感じる「直感・観察(inspiration)」と、文化財情報により説明・補完する「情報(information)」の2面性を併せ持った展示形態とし、ハンズオン展示も完備予定。その他にも、まちの紹介のプロローグ映像やめぐるカードなど

長岡京市まちなかミュージアム れきしる長岡京

常設展示ゾーン

平日はもちろんのこと、土日祝日も楽しんでいただける空間



▶ デジタル技術 を活用し、市の文化財の魅力を再発見(31.09㎡)

① 地形模型へのプロジェクションマッピングの展示

➡ 市の歴史文化の特徴「7つのものがたり」を約2mの地形模型に映像投影

② 手のひら3Dアーカイブス

➡ 乙訓寺木造十一面観音立像や光明寺御本廟など普段見ることができない文化財を3Dとして再現

③ 年表タッチウォール

➡ 壁面に配置されたイラストをタッチすると反応するインタラクティブな仕掛け

Point!



長岡京市まちなかミュージアム れきしる長岡京

企画展示ゾーン

春や秋などに開催する企画展示。12/19～OPEN特別展スタート
※開館時間は文化財保護の観点から制約あり



展示室OPEN 特別企画展

▶本物の文化財の魅力を体感する (34.56㎡)

市内に点在している文化財(古文書や仏像など)の現物の魅力を体感できる施設として整備している。

保存・活用の両面をサポートできる什器や照明を採用し、展示環境にも配慮している



「仏に、**籠**める。～像内納入文書の世界～」

二部制

▶ 前期:令和8年12月19日～令和9年1月17日
後期:令和9年 1月23日～令和9年3月22日

■前期の見どころ:全貌は初公開となる重文 乙訓寺像内納入文書の展示

■後期の見どころ:市内最古の像内文書、全国で2番目に古い御成敗式目の展示